



エレクトロニクスの専門商社
新光商事 株式会社
<http://www.shinko-sj.co.jp>

株主・投資家の皆様へ

第64期 IR通信
(第2四半期)

2016年4月1日

2016年9月30日

証券コード：8141

Future Technology

未来を見つめる技術力

お客様の課題をトータルに解決できる エレクトロニクス専門商社です。

生活を豊かにする商社の役割



商社の機能

半導体・電子部品提供

グローバル・サポート

市場開拓機能

ロジスティクス機能

商社は様々な業種・分野において、「川上から川下まで」様々な商品を取り扱っています。取り扱う商品の幅は、半導体や電子部品から原材料まで多岐にわたります。またグローバル化やIT化が進むなか、市場ニーズ等を捉えた最適な半導体・電子部品のご提供、新たな市場の開拓、グローバルなサポートやロジスティクスと、多様化する顧客のニーズに応え高付加価値のソリューションを提供しています。

エレクトロニクス専門商社としての新光商事

人々の暮らしとビジネスを グローバルに支えています

長年にわたりエレクトロニクスを中心に、産業機器、自動車関連機器、通信機器、OA機器、民生機器から娯楽機器に至るまで、幅広い製品とソリューションの提供を行ってまいりました。また東南アジアや北米の拠点を中心に、グローバルなネットワークを展開し、お客様の課題解決や要望にお応えしています。

高い技術力に基づく「技術商社」としての 提案力があります

単純にモノを提供するだけではなく、高い技術力を武器に独自のサービスを提供し、お客様のニーズを実現する最適なデバイスの選定、組み合わせや使用法などを技術的な観点からご提案します。また、ソフトウェアの開発や、LSIの受託開発なども行い、「技術商社」として業界で高く評価されています。

ボードレスな展開にも「お客様第一」で柔軟に対応

BUSINESS FIELD

エレクトロニクスの応用分野は時代とともに広がり、お客様ニーズもますます多様化かつ高度化しています。こうした状況のなかで新光商事は、グローバル化する業務形態に対してのボードレスな展開をお客様に求められています。私たちはお客様に求められる最適な半導体・電子部品を提供するだけでなく、企画提案を実施しソリューションをご提供することで、お客様とともにビジネスフィールドを広げて行きます。



アミューズメント

- ・パチンコ台
- ・スロット台
- ・コントローラ
- ・アーケードゲーム



車載

- ・エンジン・トランスミッション
- ・エアコン・サスペンション制御
- ・パワーウィンドウ
- ・カーオーディオ
- ・キーレスエントリー・ABS
- ・安全運転補助装置



OA

- ・LBP・インクジェットプリンタ
- ・MFP・サーマルプリンタ
- ・ストレージ機器
- ・液晶プロジェクタ
- ・PCカメラ



産業

- ・EMS測定器
- ・指紋認証機器
- ・モーター制御
- ・ナンバー読取装置
- ・電力メーター
- ・スマートメーター
- ・半導体製造装置
- ・RAID装置
- ・インバータ
- ・FAロボット



通信

- ・携帯電話
- ・タブレット
- ・交換機
- ・スマートフォン
- ・携帯基地局
- ・光通信機器



民生

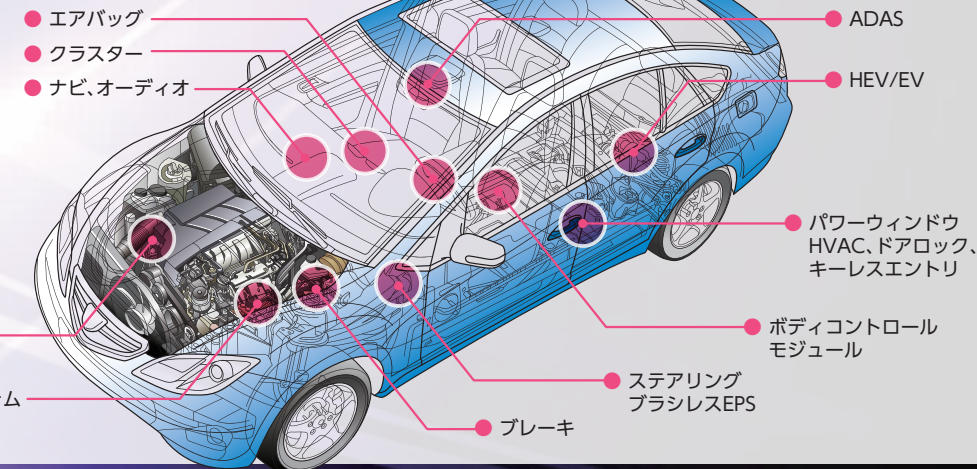
- ・HDDオーディオ
- ・シリコンオーディオ
- ・地上波デジタルTV
- ・APSカメラ

新光商事がご提供する半導体・電子部品をご採用頂いたお客様のシステム

カーエレクトロニクス編

最適な半導体や電子部品、ソリューション、技術サポートが一体となったサービスでお客様のビジネスをご支援しています。

今回は、当社の主力分野である自動車システムをご紹介します。



株主の皆様へ

株主の皆様には、平素より当社への格別のご理解とご支援を賜り、誠にありがとうございます。

当社第64期第2四半期(2016年4月1日から2016年9月30日まで)の経営成績がまとまりましたので、ここにご報告申し上げます。当第2四半期は、自動車電装関連が堅調に推移した一方、娯楽機器関連や中国市場での通信機器関連の販売が伸び悩んだことなどから、減収減益という結果となりました。下期には娯楽機器関連の回復や海外ビジネスの復調を見込んでおり、業績の改善を果たすべく努めてまいります。

株主の皆様におかれましては、今後も引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役社長 小川 達哉



Q 上期の経営成績についてご解説ください。

当第2四半期(2016年4月1日から2016年9月30日まで)の国内景況は、雇用・所得環境などが改善されつつある一方、消費者マインドの本格的な改善には至っておらず、実体経済としてはまだまだ弱含みの状況が続いています。世界経済においても、中国・新興国経済の減速など先行き不透明な状況が続いています。

当社グループにおいては、自動車電装関連が国内市場で堅調に推移したものの、中国・新興国の設備投資が鈍化した影響から、民生機器関連などの販売が低調に推移しました。娯楽機器関連についても、機種更新の端境期であったことなどから、販売は低調でした。

こうした結果、当社グループの上期の連結経営成績は、売上高が519億46百万円(前期同期比17.8%減)、営業利益が8億65百万円(同28.3%減)、経常利益が8億79百万円(同26.5%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益が5億20百万円(同32.7%減)となりました。

Q 上期の主な取り組みとその成果をご紹介します。

堅調な成長を続けている自動車電装関連では、当社グループが近年力を入れてきたデザイン・イン活動の成果が次々と現れ始めています。成長分野である安全支援技術関連や自動運転技術関連で、多くの提案が認められたほか、これまで実績の無かった自動車のシステム領域でも我々の提案したソ

デザイン・イン活動に大きな手応え 新たな新光商事を象徴するソリューションも相次ぎ誕生 ルネサスエレクトロニクスとの協業を一層推進

リューションが採用されました。これらの成果が業績に反映されるには少し時間を要しますが、将来的に大きく成長が期待できる技術領域において、デザイン・イン活動が顧客から高く評価されていることは、今後に向けて非常に心強い材料となっています。同様の事例が産業機器関連でも出始めており、当社が提唱する「企画提案型商社」に向けた取り組みが、全社的に浸透しつつあると感じています。

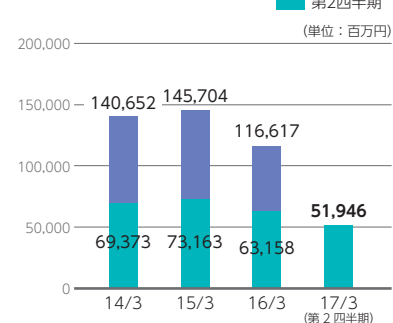
Q 今後の成長戦略についてお聞かせください。

当社グループのこれからの戦略を象徴するのが、10月に幕張メッセで開かれた「CEATEC JAPAN 2016」での出展内容でした。昨年発表しました、「Alplay」に触感フィードバック機能を加えた新型「Alplay」を筆頭に、長距離・省電力無線通信

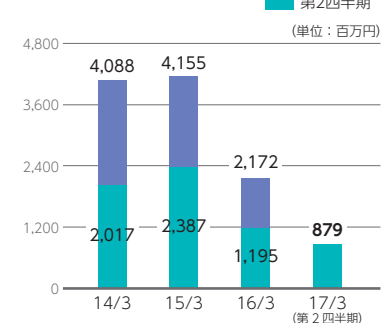
「LoRa」関連のソリューション、パラマウントベッド株式会社と共同開発に取り組んでいる「乳幼児見守りシステム」など、従来の事業領域にはとどまらない幅広い分野のソリューションを一斉に展示しました(詳細は9～12ページに記載)。当社グループが誇るセンシング技術や通信関連技術をクラウド技術などと組み合わせ、IoT時代に対応した新たなソリューションを提案した結果、日経テクノロジーなどのメディアにも取り上げられ、これまで取引の無かった大企業からも引き合いが相次ぎ、有望な商談もいくつか進行しています。

今後も、当社グループにとって最大のパートナーであるルネサスエレクトロニクス株式会社との関係を活かしながら、国内外の様々なメーカーの優れた商材を有機的に結びつけることで、電子部品を核としたソリューションビジネスをさらに拡大していく方針です。

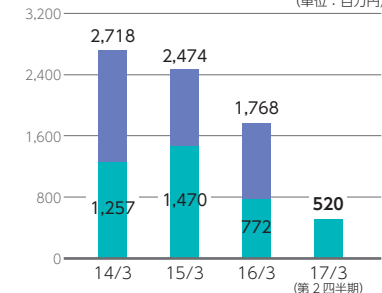
連結売上高



連結経常利益



親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益



Q 下期の主な取り組みと通期の業績予想についてお聞かせください。

自動車電装関連は下期も堅調に推移すると期待しています。これまでに播いてきた種が徐々に実を付けはじめており、これらを収穫するとともに、将来に向けて次の種を播くという作業を今後も継続していくことで、この分野の成長を確実なものにしていく考えです。

このほか、ここしばらく大規模な機種更新がなく、低調に推移していた娯楽機器関連も、いよいよ下期には回復に向かうと期待しています。すでに多くの商材を用意しており、顧客からも高い評価を得られていますので、市場の立ち上りとともに、業績は改善すると期待しています。また、海外市場に関しても、今後は回復を見込んでおり、中国の現地企業向けビジネスなどを拡大していく方針です。

通期の業績予想については、期初予想から変更はなく、売上高が1,270億円(前期比8.9%増)、営業利益が23億円(前期比5.9%増)、経常利益が23億円(前期比5.9%増)、親会社株主に帰属する当期純利益が15億円(前期比15.2%減)と予想しています。

Q 最後に、株主の皆様へメッセージをお願いします。

当社グループは今、コーポレートガバナンスの充実に注力しつつ、従来の電子部品商社の概念を超えた存在になることに挑戦しています。長い年月をかけて培った商社としてのノウハウを最大限に活用しつつ、事業領域をさらに上流に拡大していくことで、単なる部品商社というレイヤーから脱却し、顧客や仕入先と一体となって製品開発に取り組む「企画提案



型エレクトロニクスの総合ソリューションプロバイダー」というレイヤーに到達することが、我々の目標です。まだまだ道半ばではありますが、近年のデザイン・イン活動や新規事業の創出などを通じて、社内の意識変革も進み、いよいよ次のレイヤーに到達できる見通しが立ってまいりました。

株主の皆様には引き続きご支援を賜りたくよろしくお願ひ申し上げます。

配当方針について

当社は安定的な配当の継続を基本として、実質配当額向上の観点から株主資本利益率の向上に努め、中期的な連結配当性向の目標値を50%としております。

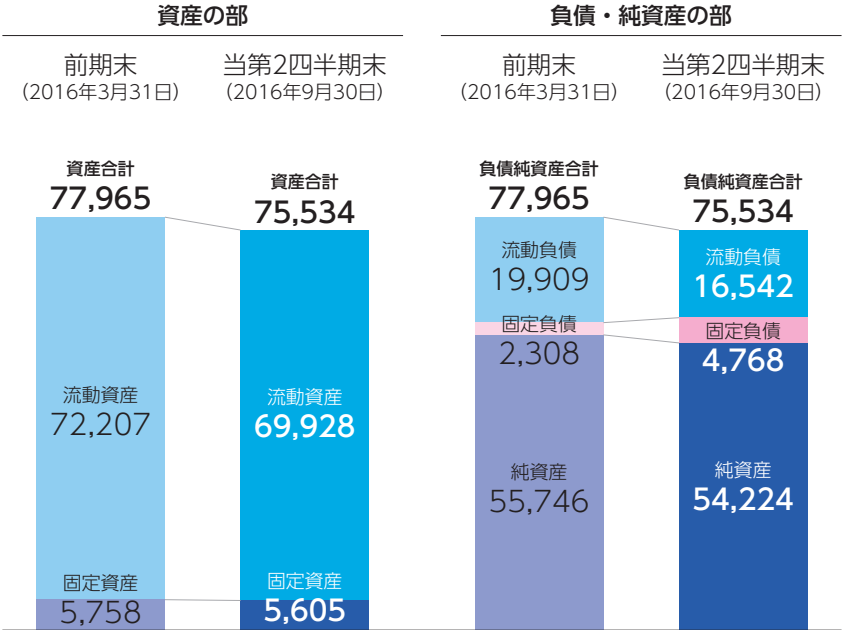
当事業年度の配当につきましては、中間配当金は1株当たり20円といたしました。期末の配当金につきましても中間配当金と同額の1株当たり20円(年間配当金1株当たり40円)を予定しております。

	前期実績	当期予定
中間配当金	20円	20円 (実績)
期末配当金	20円	20円
年間配当金	40円	40円

ひと目でわかる
財務ハイライト

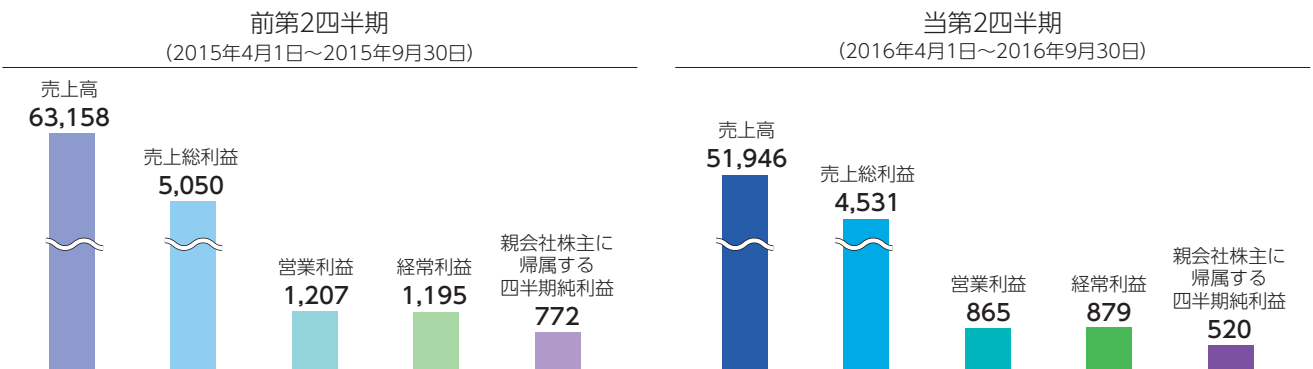
連結貸借対照表

(単位:百万円)



連結損益計算書

(単位:百万円)



詳細な財務情報は、当社IRサイトよりご覧いただけます。

新 光 商 事 I R

検索

クリック!

財務のポイント

● 資産

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、755億34百万円となり、前連結会計年度末に比べ24億30百万円減少いたしました。これは主に、未収入金が2億32百万円増加したものの、現金及び預金が6億77百万円、受取手形及び売掛金が2億65百万円、商品及び製品が12億66百万円、原材料が1億22百万円、投資有価証券が1億10百万円減少したこと等によるものです。

● 負債

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は、213億10百万円となり、前連結会計年度末に比べ、9億8百万円減少いたしました。これは主に、支払手形及び買掛金が2億89百万円、短期借入金が2億5百万円、未払法人税等が2億20百万円、流動負債その他が1億26百万円減少したこと等によるものです。

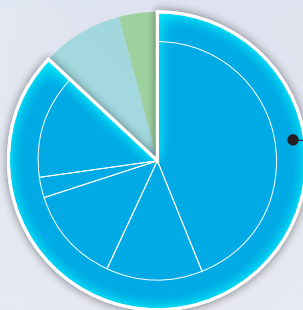
● 純資産

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は542億24百万円となり、前連結会計年度末に比べ15億22百万円減少いたしました。これは主に、利益剰余金が57百万円増加したものの、為替換算調整勘定が15億43百万円減少したこと等によるものであります。この結果、自己資本比率は71.1%(前連結会計年度末は70.9%)となりました。



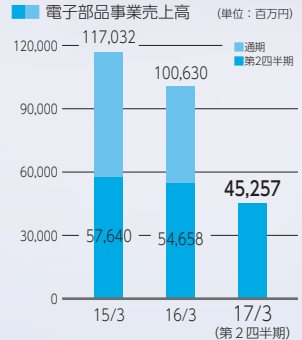
売上高は**51,946**百万円(前年同期比 17.8%減)となりました。

電子部品事業



品種別売上高構成比(連結)
電子部品事業
87.1%

売上高
45,257 百万円
(前年同期17.2% ↓)



集積回路



売上高
22,932 百万円
(前年同期比16.8% ↓)

出展 ルネサスエレクトロニクス(株)

国内において、自動車電装関連は堅調に推移いたしましたが、民生機器関連・娯楽機器関連は低調に推移いたしました。海外においては、民生機器関連が大幅に減少いたしました。以上の結果、集積回路の売上高は229億32百万円(前年同期比16.8%減)となりました。

半導体素子



売上高
6,699 百万円
(前年同期比15.6% ↓)



国内において、自動車電装関連は堅調に推移いたしましたが、娯楽機器関連・産業機器関連は低調に推移いたしました。海外においては、産業機器関連・OA機器関連が低調に推移いたしました。以上の結果、半導体素子の売上高は66億99百万円(前年同期比15.6%減)となりました。

回路部品



売上高
6,855 百万円
(前年同期比11.6% ↓)



国内において、OA関連・通信関連は堅調に推移いたしましたが、産業機器関連は低調に推移いたしました。海外においては、産業機器関連が低調に推移いたしました。以上の結果、回路部品の売上高は68億55百万円(前年同期比11.6%減)となりました。

LCD等



売上高
1,380 百万円
(前年同期比12.1% ↓)



国内において、自動車電装関連・産業機器関連は堅調に推移いたしましたが、OA機器関連は低調に推移いたしました。海外においては、産業機器関連が低調に推移いたしました。以上の結果、LCD等の売上高は13億80百万円(前年同期比12.1%減)となりました。

その他電子部品

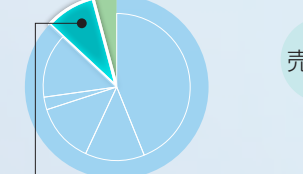


売上高
7,388 百万円
(前年同期比24.8% ↓)



国内において、産業機器関連が堅調に推移いたしましたが、民生機器関連は堅調に推移いたしましたが、民生機器関連が大幅に減少となりました。以上の結果、その他電子部品の売上高は73億88百万円(前年同期比24.8%減)となりました。

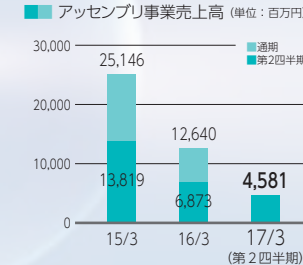
アッセンブリ事業



売上高
4,581 百万円
(前年同期比33.3% ↓)

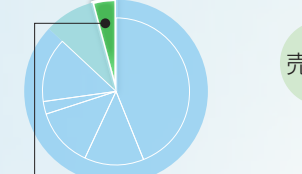


品種別売上高構成比(連結)
アッセンブリ事業
8.8%



海外において、娯楽機器関連・産業機器関連が大幅減となりました。以上の結果、アッセンブリ製品の売上高は45億81百万円(前年同期比33.3%減)となりました。

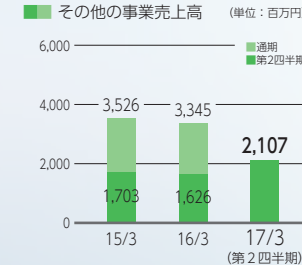
その他の事業



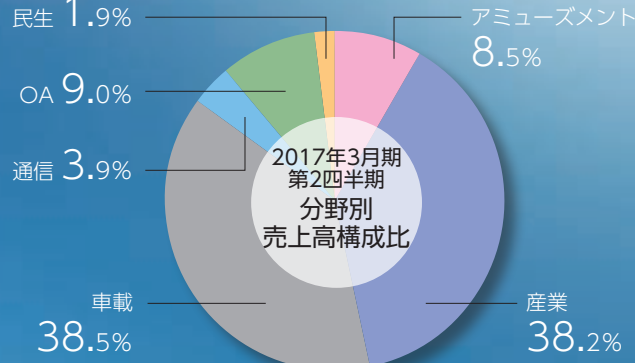
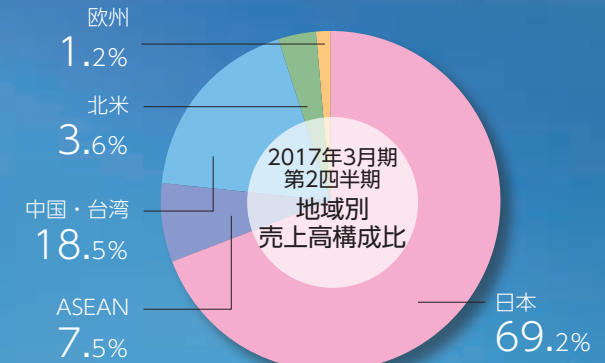
売上高
2,107 百万円
(前年同期比29.6% ↑)



品種別売上高構成比(連結)
その他の事業
4.1%



国内において、ソフトウェア受託開発及び民生用小型電子機器の輸入が好調に推移いたしました。以上の結果、電子機器及びマイクロコンピュータのソフトウェア受託開発の売上高は21億7百万円(前年同期比29.6%増)となりました。





CEATEC JAPAN 2016に出展
多くの来場者に
最新技術をご紹介します

企業や人の共創を鼓舞し、未来の道標として「つながる社会、共創する未来」をテーマに、幕張メッセで10月に開催された「CEATEC JAPAN 2016」に、昨年に引き続き出展しました。

今回は自社製品である「Alplay」を応用した、空中に浮かんだボタンを非接触で操作できる触感受付端末をはじめ、演出用簡易表示(7SEG・3桁フルカラー)ユニット、プロジェクションマッピングデモ、省電力/長距離ネットワーク「LoRa」、センサHUBソリューションEOSプラットフォーム、乳幼児見守りシステム、360°多眼カメラデモ、等を展示し、多くの来場者の関心・注目を集めることができました。

今後も当社は協賛いたしております多数のパートナー企業様と共に、お客様の事業のお役に立てるよう、新しいワクワクする未来につながるソリューションを開拓してまいります。



CEATEC JAPAN 2016 概要

日時 2016年
10月4日(火)～7日(金)
午前10時～午後5時

開催場所	幕張メッセ
来場者数	145,180人
出展者	648社/団体

「Alplay」、「LoRa」、「乳幼児見守りシステム」につきまして、次ページ以降で詳細に説明します。



「Alplay」応用製品
「空中触覚ユニット付き
非接触受付端末」などを展示

空中に浮かんだボタンやアイコンに触れるようにして非接触で操作できる「Alplay」に、「超音波技術」により発生した空中触覚を融合した「空中触覚ユニット付き非接触受付端末」などを展示しました。空中映像のボタンをタッチするとボタンを押した「触感」を感じることができます。非接触操作は直接ボタンや画面に触れる必要が無いため、機器も手も汚れることの無い大変清潔なインターフェースです。

多くの人が触れる可能性がある場所や医療現場などでも、常に清潔な操作が行えるため、受付端末に限らず様々な場面での活用が期待できます。



商品紹介 |||||

エアリアル サイネージ a01

AERIAL SIGNAGE a01

タッチしないでタッチする
新感覚インフォメーション

本体:
ステンレスフレーム+スチール+
ガラスプレート

サイズ:
W460mm×D580mm×
H1,230mm

重量:
45kg(内臓PC、ディスプレイ、センサー等は含まず)

表示サイズ:
対角8インチ
サイン部/フレーム上部:LED照明内蔵

特徴

- センサ融合による直感的操作
- 周囲からのぞき見されにくい視死角
- タッチレス操作のため衛生的
- 画面そのものの実体がないため邪魔にならない





特集
CEATEC JAPAN 2016

パラマウントベッド株式会社と共同開発 「乳幼児見守りシステム」

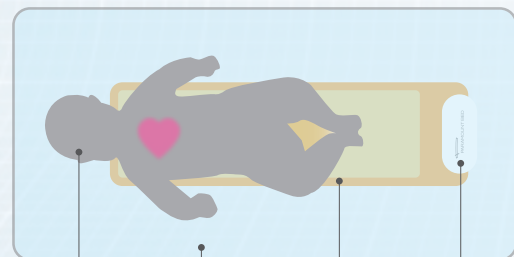


乳幼児の心拍、呼吸、体動を検知してご家族のスマートフォンなどに乳幼児の状況をリアルタイムに表示できる監視システム「乳幼児見守りシステム（パラマウントベッド株式会社と共同開発）」を展示しました。マットレスや布団の下にシートセンサーを敷くだけで、ご家族のスマートフォンなどに乳幼児の状況をリアルタイム

に表示します。

Amazonのクラウドシステムを活用し乳幼児生体情報ビッグデータの活用への展開や、乳幼児向け以外の用途として、今後市場の拡大が見込まれる介護の現場での展開も想定しています。

乳幼児見守りシステムイメージ



赤ちゃん マットレス／布団 センサーシート センサーユニット



ホーム画面

体動に合わせて点滅

睡眠スイッチでわが子の写真が入れ替わる

呼吸や心拍に合わせて点滅

育児記録スタンプ

出産退院後、自宅で乳幼児を見守り育児を支援するママ向けのサービス。センサーシートにより生体情報を取得し、自動で睡眠リズムを把握し、母乳・排泄・オムツ交換などの育児イベントの登録も可能としています。手持ちのスマートフォンアプリで育児記録全般を支援します。



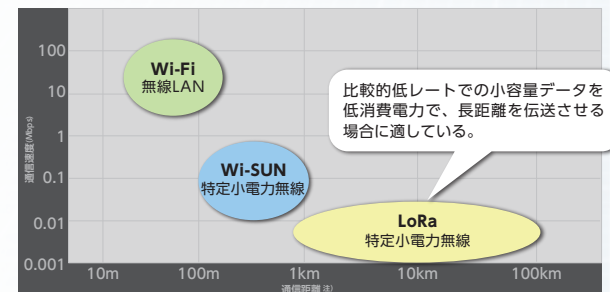
特集
CEATEC JAPAN 2016

小容量の情報を低電力で長距離伝送 LoRa IoTソリューション

LoRaとはスペクトラム拡散変調*の採用により、ノイズや干渉に強く、秘匿性に優れ、高感度で堅牢なネットワークリンクを実現する無線通信の変調規格です。比較的低レートでの小容量データを低消費電力で、長距離伝送するのに適しており、センシング・モニタリング・メータリングでの活用が期待されます。具体的には、水道やガスの使用量の収集・遠隔診断から、大雨時の河川水深、道路冠水状況監視による防災・環境保全、また街路灯遠隔管理・遠隔操作や駐車場状況管理などスマートシティへの活用、広域の機材管理などのトラッキングと幅広い使用が見込まれます。

*スペクトラム拡散変調
本来よりも通信の信号を広い帯域に拡散して通信する技術

LoRaとその他の製品の通信距離比較



注) 通信距離: 通信環境により異なります。各社製品の見通し理想条件時の値等を参考に記載。



防災・環境保全に活用

河川水深、道路冠水状況を監視

台風の直撃やゲリラ豪雨など「非常に激しい雨」の発生時に、河川水深や道路冠水の状況など、LoRaを活用し監視することで災害防止に役立てることが可能です。



会社の情報 (2016年9月30日現在)

会社概要

商号 新光商事株式会社
Shinko Shoji Co.,Ltd.
本社 〒141-8540 東京都品川区大崎1-2-2
アートヴィレッジ大崎セントラルタワー13F
ホームページ http://www.shinko-sj.co.jp/
代表電話番号 TEL. 03-6361-8111
設立 1953年(昭和28年)11月
資本金 95億193万円
従業員数 連結806名 単独334名
営業品目 電子部品、アッセンブリ製品及び電子機器の販売
主要取扱商品 マイコン、システムLSI、半導体素子、メモリ、
コンデンサ、フェライトコア、カラー液晶、
一般電子部品、アッセンブリ製品、
コンピュータ周辺機器、レーザ装置他
事業内容 集積回路・半導体素子等の電子部品、アッセンブ
リ製品及び電子機器の販売、これらに関連する輸
出入業務並びにこれらに付帯する事業

事業拠点

本社 大阪支店
立川支店 広島支店
仙台支店
宇都宮支店 川崎物流センター
埼玉支店 塩尻物流センター
甲府支店
松本支店
北陸支店
浜松支店
名古屋支店

取締役及び監査役

代表取締役会長 北井 暁 夫
代表取締役社長 小川 達 哉
常務取締役 稲葉 淳 一
取締役 正木 輝
取締役 弓削 文 孝
取締役 細野 克 宏
取締役 宮澤 清 高
取締役(社外) 大浦 俊 夫
取締役(社外) 吉池 達 悦
常勤監査役 佐藤 俊 彦
監査役(社外) 坂巻 國 男
監査役(社外) 矢内 銀 次 郎

グループ会社

国内連結子会社 新光商事エルエスアイデザインセンター株式会社
ノバラックスジャパン株式会社
NT販売株式会社
主な海外連結子会社
[香港] NOVALUX H.K. ELECTRONICS LTD.
[上海] 樂法洛(上海)貿易有限公司
[シンガポール] SHINKO(PTE) LTD.
[台湾] 陽耀電子股份有限公司
[アメリカ] NOVALUX AMERICA INC.
[タイ] NOVALUX(THAILAND) CO., LTD.
[深セン] 調諧電子科技(深セン)有限公司
[スペイン] NOVALUX EUROPE, S. A.

株式の情報 (2016年9月30日現在)

株式の状況

発行可能株式総数

39,700,000株

発行済株式の総数

24,855,283株

株主数

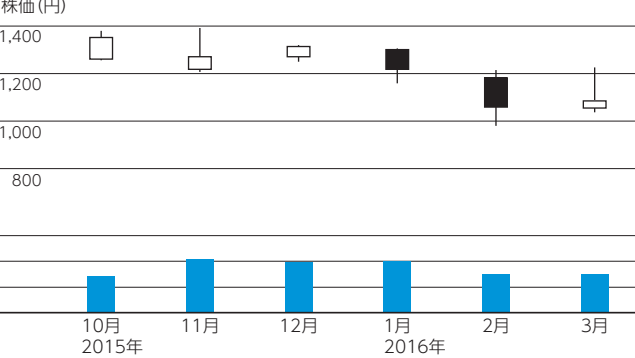
3,851名

大株主（上位10名）

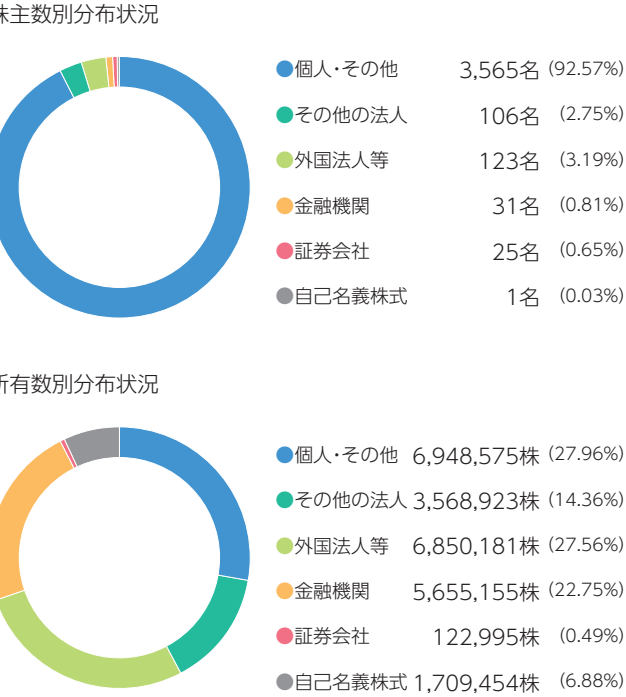
株主名	当社への出資状況	
	持株数（千株）	持株比率（％）
有限会社キタイアンドカンパニー	2,450	10.5
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社（信託口）	781	3.3
北井 暁夫	651	2.8
UBS AG LONDON A/C IPB SEGREGATED CLIENT ACCOUNT	635	2.7
株式会社横浜銀行	571	2.4
STATE STREET CLIENT OMNIBUS ACCOUNT OM44	533	2.3
CBNY DFA INTL SMALL CAP VALUE PORTFOLIO	512	2.2
株式会社三井住友銀行	510	2.2
水上 富美子	480	2.0
日本マスタートラスト信託銀行株式会社（信託口）	420	1.8

(注) 1. 大株主(上位10名)は自己名義株式2,007,654株を除いて記載しております。
尚、2,007,654株には「株式給付信託(BBT)」制度の導入に伴い、資産管理サービス
信託銀行株式会社(信託E口)が保有する298,200株を含めております。
2. 持株比率は、資産管理サービス信託銀行株式会社(信託E口)が保有する298,200
株を除く自己名義株式1,709,454株を控除して計算しております。

株価・出来高の推移



株式分布状況



株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで	公告の方法	日本経済新聞に掲載して行う
定時株主総会	毎年6月開催	上場証券取引所	東京証券取引所 市場第一部
基準日	定時株主総会 毎年3月31日 期末配当金 毎年3月31日 中間配当金 毎年9月30日 そのほか必要があるときは、 あらかじめ公告して定めた日	(ご注意)	1. 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっておりますので、口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。 2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三井住友信託銀行が口座管理機関となっておりますので、三井住友信託銀行にお問い合わせください。 3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社		
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 TEL.0120-232-711(通話料無料)		
特別口座の 口座管理機関 連絡先	三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 TEL.0120-782-031(通話料無料)		

ホームページのご案内



トップページ

IRやCSR等、当社の最新情報はホームページでご覧ください。
<http://www.shinko-sj.co.jp/>



IR情報



ガバナンス等



〒141-8540 東京都品川区大崎1-2-2 アートヴィレッジ大崎セントラルタワー13F
 TEL : 03(6361)8111 (大代表) FAX : 03(5437)8484



見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。
 この冊子は環境保全のため、植物油インキとFSC®認証紙を使用しています。